

若田宇宙飛行士のスペースシャトル「エンデバー」号搭乗の経過について

平成8年1月19日
研究開発局

1. 若田宇宙飛行士が搭乗するスペースシャトル「エンデバー」号は、日本時間の1月11日（木）18：41にNASAケネディ宇宙センターから打ち上げられ、現在、予定されている任務を着実にこなしつつ、順調に飛行。
2. 日本時間の1月13日（土）21時57分には、我が国の宇宙実験・観測フリーフライヤ（SFU；Space Flyer Unit）の回収に成功。その後、若田宇宙飛行士は、橋本総理大臣、中川大臣と15分間の交信を実施。

〔 SFUの太陽電池パドルを折り畳んだ際、同パドルの固定確認信号が得られなかったことから、最終的に同パドルを切り離して本体を回収。 〕
3. 日本時間の1月14日（日）20時32分には、米国の宇宙実験衛星オースト・フライヤ（OAST Flyer）の放出に成功するとともに、1月15日（月）14時35分から約6時間、国際宇宙ステーションの組立に向けた各種機器の実証試験（作業台の作業性、電気系ラインの接続など）等のための船外活動を支援。
さらに、日本時間の1月16日（火）19時15分には、オーストフライヤの回収に成功、1月17日（水）14時54分から約6時間半、2度目の船外活動を支援。
4. 日本時間の1月20日（土）16時42分には、NASAケネディ宇宙センターに帰還予定。

(参考)

1. これまでの経過

1) 打上げ

一日時：1月11日(木) 18:41

(通信系の異常とその対処により、予定より23分遅れ)

一場所：NASAケネディ宇宙センター

2) 宇宙実験・観測フリーフライヤ(SFU)回収

一概要：若田宇宙飛行士がロボットアームを操作し、平成7年3月にH-IIロケットで打ち上げられたSFUを回収。

一日時：1月13日(土)

19:56(捕獲開始)～20:39(格納)

～21:57(SFU電源オフ)

(SFUの2枚の太陽電池パドル切離し等により、予定より2時間36分遅れ)

3) 橋本総理、中川大臣と若田宇宙飛行士との交信(VIPコール)

一概要：橋本総理及び中川大臣と、「エンデバー」号搭乗中のダフィー船長及び若田宇宙飛行士が交信。

一日時：1月13日(土) 22:56～23:11

一場所：総理官邸

4) 米国の宇宙実験衛星(オースト・フライヤ)放出

一概要：若田宇宙飛行士がロボットアームを操作し、米国の宇宙実験衛星オースト・フライヤを放出。

一日時：1月14日(日) 19:50(衛星把持)～20:32(放出)

5) 船外活動1

一概要：リロイ・チャオ宇宙飛行士及びダニエル・バリー宇宙飛行士(いずれも船外活動は初めて)が、国際宇宙ステーション組立のための船外活動機器の実証試験等を実施。若田宇宙飛行士は、ブレント・ジェット宇宙飛行士とともに、ロボットアームで船外活動を支援。

一日時：1月15日(月) 14:35～20:44

6) 米国の宇宙実験衛星(オースト・フライヤ)回収

一概要：若田宇宙飛行士がロボットアームを操作し、米国の宇宙実験衛星オースト・フライヤを回収(ブレント・ジェット宇宙飛行士が操作を支援)。

一日時：1月16日(火) 18:47(捕獲)～19:15(格納)

7) 宇宙開発事業団・NHK共同企画番組

－概要：宇宙ステーション組立に向けての宇宙飛行士の役割やその訓練などに焦点をあてた教育的番組を、宇宙開発事業団とNHKが共同制作。

－日時：スペースシャトル－地上間の交信

1月17日(水) 12:41～12:56

NHKでの放映

1月17日(水) 11:40～13:15 (生放送、BS1)

19:00～20:35 (再放送、BS1)

23:35～24:15 (再放送ダイジスト、総合)

－出演者：スペースシャトル内のダフィー船長及び若田宇宙飛行士、
地上(NASAジョンソン宇宙センター)の毛利衛宇宙飛行士、
ヒューストン日本語補習学校の小学生 等

8) 船外活動2

－概要：リロイ・チャオ宇宙飛行士(船外活動は2回目)及びウィンストン・スコット宇宙飛行士(船外活動は初めて)が、国際宇宙ステーション組立のための船外活動機器の実証試験等を実施。若田宇宙飛行士は、ブレント・ジェット宇宙飛行士とともに、ロボットアームで船外活動を支援。

－日時：1月17日(水) 14:54～21:34

2. 今後の予定

1) 軌道上(スペースシャトル内)記者会見

－概要：スペースシャトル内の搭乗員全員がジョンソン宇宙センターの日米の報道陣と交信して、記者会見。

－日時：1月19日(金) 14:41～15:11

2) 着陸

－日時：1月20日(土) 16:42

－場所：NASAケネディ宇宙センター